

保育所への芸術士派遣事業

施策のポイント

平成21年度、本市では、公私立保育所28か所において芸術士派遣事業を開始したが、全国的に見て、このように多数の保育所で事業を実施した前例はなく、また、公立保育所でこのような事業を実施したという前例はない。

自治体情報

香川県高松市

人口 / 425,876人

標準財政規模 / 91,002,637千円

担当課 保育課

電話番号 直通 087-839-2358

実施主体 高松市

関連ホームページ http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kenkofukushi/hoiku/hoikuka/contents/oshirase/200909_geizyutushi.html

事業期間 平成21年度から平成23年度まで

参考とした施策

関係施策分類 ①

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

高松市内の保育所に若いアーティストを派遣し、子どもたちに芸術と触れる機会を提供するため、「瀬戸内国際芸術祭」開催に向けた活動にかかわるNPO法人に委託し、事業を実施している。

事業実施にあたり、「ふるさと雇用再生特別基金事業」と「緊急雇用創出基金事業」を活用している。



2 取り組みの具体的内容

平成21年度は、芸術士8人が高松市内の公私立保育所を分担し、1人の芸術士が概ね4か所の保育所を担当し、シフトを組んで1日1か所の保育所に赴いていた。

子どもたちとの活動時間は、主に午前中で、芸術士が保育士と連携しながら、子どもたちと造形・絵画・音楽など様々な表現活動をし、子どもの持つ力を効果的に表現できるよう、専門性を生かした助言や関わりをしている。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- (1) 子どもたち一人一人が個性を発揮して、友だちや保育士、芸術士と一緒に何かを創る楽しさ、喜びを実感できるようにすること。
- (2) 子どもたちが元々持っている無限の可能性を引き出し、感性や創造力の育成を図ること。
- (3) 保育士にとっても、芸術士と一緒に表現活動を行うことによって、新たな保育技術の学びとなること。

4 現在までの実績・成果

子どもたちの自主的な創作活動、表現力を育むきっかけになり、子どもたちがますます活気に満ちている。

子どもたちが自己を表現する喜びを知り、また、お互いを認めあえる関係づくりができています。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

参考となる前例がないまま手探り状態で事業がスタートしたため、保育所生活の中での芸術士の位置づけとはどうあるべきか、子どもが持つ豊かな可能性を見出し、感性や創造力の育成を図るためにはどうすべきかを日々模索し、芸術士と保育士が連携することで解決策を探っている。

6 今後の展開と課題

今年度は、その日1日限りの創作活動ではなく次の創作活動につなげていけるように、さらには、その日の創作活動で見られた子どもたちの興味の対象を、次の創作活動のヒントとして、長期的・自主的な創作活動としていく。

保育士と芸術士との合同ミーティングを定期的に行うなど、活動の方向性や内容の把握を含め、芸術士と保育士とのさらなる連携がこれからの課題である。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
29,841 千円		0 千円	29,841 千円	0 千円	0 千円	0 千円
①～④の名称、 所管など	名称		ふるさと雇用再生 特別基金事業			/
	所管		厚生労働省			
	金額		29,841 千円			
	補助率		100%			